

Helix Swarm2020.1 日本語化ガイド

ここでは、Helix Swarmバージョン2020.1を日本語化する手順を説明しています。

この手順を実施することで、以下が可能になります。

- ・ Helix Swarmを日本語環境で使用できるようになります
- ・ Helix Swarmオンラインマニュアル日本語版を使用できるようになります

手順

1. 日本語化パックのダウンロード

ダウンロードサイトから、日本語化パック(swarm-l10n-ja.tgz)をダウンロードします。

ダウンロードサイト

[Helix Core \(Perforce\) 製品ダウンロード](#)

2. 日本語化パックの転送

ファイル転送ツールを使用してHelix Swarmがインストールされているサーバマシンへ転送します。

※ この手順では、転送先を"/tmp"として説明します。

3. 日本語化パックの解凍

次のコマンドを実行し、日本語化パックを解凍します。

解凍コマンド例

```
sudo tar xvf swarm-l10n-ja.tgz
```

解凍後のディレクトリ構成は下記の通りです。

```
language/  
public/
```

4. 日本語化パックの配置

① 日本語化パックを配置する前に、配置先に同名のディレクトリが存在しないことを確認します。

※ 以前にHelix Swarmを日本語化していない限り、デフォルトでは存在しません。

ディレクトリ確認コマンド例

```
sudo ls -l /opt/perforce/swarm/language
```

② 存在しないことを確認後、次のコマンドを実行し、日本語化パックを配置します。

“language” ディレクトリの配置コマンド

```
sudo cp -r /tmp/language /opt/perforce/swarm
```

“ja.js, ja.jsgz” ファイルの配置コマンド

```
cd /tmp/public/build/language  
sudo cp ja.* /opt/perforce/swarm/public/build/language
```

英語オンラインマニュアルの移動コマンド

```
mv /opt/perforce/swarm/public/docs /opt/perforce/swarm/public/eng
```

日本語オンラインマニュアルの配置コマンド

```
mkdir /opt/perforce/swarm/public/docs  
cd /tmp/public/docs/ja  
sudo cp -r swarm/* /opt/perforce/swarm/public/docs/  
sudo cp swarm/.htaccess /opt/perforce/swarm/public/docs/
```

5. Apache再起動

設定を反映させるため、Apacheを再起動させます。

Apache再起動コマンド

```
systemctl restart httpd24-httpd
```